

人口減少ワークショップまとめ【建設部会】

部会	自然増・社会増の区分	くくり	記載のあった番号	自然増									社会増						その他	記載内容
				若い世代の経済的安定	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	子ども・子育て支援の充実	仕事と生活の調和の実現（働き方改革）	中山間地域等における「小さな拠点」（多世代交流・多機能）の形成	地方都市における経済・生活圏の形成	安心な暮らしの確保	人口減少等を踏まえた既存ストック（空き家・施設等）の強化	住民が地域防災の担い手となる環境の確保	地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備	地域産業の競争力強化	地方への人材環流、地方での人材育成・雇用対策	地方移住の推進	地方教育機関（高校・大学等）の活性化	企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大		
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯					
建設	自然増		1	①															美幌地域での職場、仕事が少ない。報酬、所得も少ない。若い世代の雇用の確保対策が必要。若い世代が住みづらい。	
建設	自然増		1	①															若い世代の定住支援。家賃補助など。	
建設	自然増		2		②														産婦人科の設置。	
建設	自然増		2		②														出産の一時金や、その後の医療助成の拡大。	
建設	自然増		2		②														産婦人科医の確保。子どもに対する医療費控除年齢を上げる（現在は3歳までとなっている）。せめて小学校入学前位までにしてほしい。	
建設	自然増		2		②														美幌町で安心して出産、子育てができる環境をつくってほしい	
建設	自然増		3			③													保育士の賃金を上げ、保育士を増やすことにより、保育園が足りない状況を改善する。	
建設	自然増		3			③													町所有の空施設、活用されていない施設を利用して、あるいは民間施設を借り上げて保育園とし、待機児童をなくし、両親が安心して仕事、暮らし、子育てできるような支援をする。	
建設	自然増		3			③													美幌町で子どもを生んだり育てたりするメリットが必要。	
建設	自然増		3			③													子育て支援、産み育てやすい環境づくり。	
建設	自然増		8								⑧								空き家や老朽化による景観悪化。取り壊し費用やリフォームの際外壁の修繕をすれば補助金増額など。北見のように都市化するのではなく現状の景観を向上させて近郊にはない魅力の創出	
建設	社会増		12											⑫					雇用対策。働く場の創出。	
建設	社会増		12											⑫					企業への人材育成の支援。	
建設	社会増		16															⑯	近隣の街、地方からでも美幌に移住し、安心して子育て、出産ができるまちづくり対策を。	
建設	社会増		16															⑯	自衛隊の存続、拡大。	
建設	社会増		-															⑯	移住、定住には、「美幌に住む理由」が必要。	
建設	社会増		-															⑯	学校の誘致。（大学、専門学校など）。英才教育を受けられる、天才児を育てられるまち。	
建設	社会増		7							⑦									郊外に住んでいる高齢者への、交通費の補助（タクシー代な	